

～夢や目標を持つことの大切さについて～

今年も暑い夏がやってきました。高校では3年生において、進学希望者には受験勉強追い込み「鍛えの夏」、就職希望者にとっては求人票受付が始まり、就職活動が本格的にスタートする夏ともいえるでしょう。1・2年生においては、自己実現に向けて自己と向き合う時ではないでしょうか？

ところで、現在の皆さんにとって、人生は限りなく可能性に満ちたものです。将来に向けて様々な夢を描くことができるのも若い皆さんの特権です。皆さんの「夢」は何ですか？何か「夢」を持っていますか？昨年度7月より紙幣がリニューアルされました。その紙幣の中で1万円札の肖像画は誰だか知っていますか？その肖像画は、「近代日本経済の父」と言われている偉大な実業家「渋沢栄一」です。彼が興した（おこした）企業や会社は、なんと500を超えと言われ、現在の東京ガス、JR 東日本、帝国ホテルなどの名だたる会社は、彼が作ったものと言いますから驚きです。

その渋沢栄一が残したと言われる言葉に「夢七訓」というものがあります。「夢」、つまり、「幸福」を手に入れる秘訣（ひけつ）です。それは、

夢なき者に理想なし
理想なき者に信念なし
信念なき者に計画なし
計画なき者に実行なし
実行なき者に成果なし
成果なき者に幸福なし
ゆえに幸福を求むる者は、夢なかるべからず



というものです。

最後の句「幸福を求むる者は、夢なかるべからず」とは、言い換えれば「幸福になろうと思ったら夢をもて 夢がなければ幸福になれない」と言うことです。夢がないと、理想も信念ももてない。だから、計画が作れないし、実行もできない。実行しないから成果も出ない。これでは、幸福になれません。

夢があれば、未来を予測して動くことができます。人間は、この未来を予測することで希望を持ち、目標を持ち、計画を立て、それを追いかけることで生きる楽しさを実感します。この楽しさこそが、私たちの生きるエネルギーになっているのではないでしょうか。渋沢栄一は、この「夢七訓」を通して、「夢を持ちなさい。幸福の出発点は夢を持つことだ。」と言っているのだと思います。皆さんには、ぜひ自分がやりたいことを自分で見つけ、自ら進んでやっていってほしいです。「自分のやりたい」ことが「夢」になるのではないでしょうか。

一方で、夢を持てば次に、その夢（目標）に向かって努力をしないとイケないことは言うまでもありません。しかし、それをきちんと計画し実際の行動に移せるかどうか大きな勝負の分かれ目になります。自分の現状を冷静に分析し、何をしなくてはいけないのか理解し把握することで、その夢に向かって努力することができるのです。努力（練習）なくして少なくとも成果は出ないし、幸福にもなれません。

あなたは、この夏をどのように過ごしますか？ただ何となく過ごすのではなく、夢から逃げず、夢の実現を目指して悔いのない1日1日を過ごしてください。今回は、夢や目標を持つことの大切さについて話をさせていただきました。